# 教育民泊から探究学習へ

## 広島湾ベイエリア・大崎上島

# 人情感じる感動の島
## 自然と歴史と探求学習

広島県大崎上島町は、瀬戸内海のほぼ中央に位置する面積43・11平方㌔、人口約6500人の離島です。本土とは竹原港、安芸津港とフェリーで約30分で結ばれており、その他、大崎下島、大三島、今治市との航路もあります。離島ではあるものの、山陽自動車道・広島空港等により主要都市とは短時間で結ばれています。瀬戸内海特有の温暖な気候と風光明媚な景観の中、島という限られた土地に生き、造船・海運業、ミカン・レモン・デコポン等多種類の柑橘栽培をはじめとする農業、水産業等、先人たちのたゆまぬ努力によって発展してきました。

平成23年より体験型修学旅行の受け入れに向けてスタートし、島の特性・文化を生かしたさまざまなプログラムを用意しています。中でも一番のおすすめプログラムは、200年以上の伝統を誇る「櫂伝馬体験」です。昔は陸の伝達手法は早馬でしたが、櫂伝馬は海での情報伝令の役目を担った木造船で、14人の漕ぎ手と太鼓1人、船頭1人の16人が乗り込みます。それぞれのポジションで役割を担い、独特の掛け声と太鼓で調子を合わせ、心を一つにして櫂の動きを合わせなければならず、チームワークの育成に比類のない、学校教育には極めて有効なプログラムです。

また、瀬戸内の穏やかな海を渡り甘藻場で海の生命について学ぶシーカヤック体験、刺網漁や船釣り、波止釣りでとれたばかりの魚の調理体験、タイやヒラメの養殖漁業体験、温暖な気候で育まれたミカン・レモン・デコポン・はるみ等の多種類の柑橘やブルーベリー・イチゴ・トマト等の栽培過程を学ぶ農業体験など、島をまるごと体験していただけます。

チームビルディングに最適な櫂伝馬体験

シーカヤック体験

農業や食を学ぶ農業体験

瀬戸内海で船釣り体験

フェリーに乗ってお別れ

方や命の源の食生産を担う農山漁村の役割を考え、理解する機会となります。これら「まるごと「主体的・対話的で深い学び」に加え、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標であるSDGsに取り組むためのプログラムも用意しています。

●シーカヤック（体験人数120人）

海岸周辺を航海し、海と島々の美しさを楽しみます。また、プランクトンや稚魚がすむ「魚のゆりかご」と呼ばれる瀬戸内海でも有数の甘藻場の観察をし、環境学習をします。

●ミカン農家体験（体験人数50人）

瀬戸内海特有の温暖な気候で育ったミカンの剪定、収穫などの作業を体験します。また、栽培過程から農業の厳しさを学び、食について学習します。

民泊体験は120人の受け入れが可能で、島の人々と生活を共にすることにより、豊かな自然と島独特の人情を感じていただき、島の人々の生き島体験」が、自らの生活や家庭、生き方を省みる機会となり、生きる力と豊かな心を育む契機になればと考えています。

皆さまに安心して来島いただけるよう、新型コロナウイルス感染症防止安全対策やその他安全・衛生・防火などの各種講習会を行い、万全の体制でお迎えしますので、ぜひ大崎上島町にお越しください。

◆SDGs取り組みプログラム

**広島湾ベイエリア・海生都市圏研究協議会**
（広島商工会議所　産業・地域振興部　地域振興課内）
担当（田村）
営業時間　月～金曜日　9：00～18：00（祝日は除く）
〒730-8510 広島市中区基町5-44
TEL 082-555-8081　FAX 082-222-6622
E-mail bayarea@hiroshimacci.or.jp
URL https://www.hiroshima-bayarea.net/

## 福井県・若狭路

# 地域のコーディネーターが支援
## 負担軽減と持続的受け入れ実現

福井県若狭地域（敦賀市・美浜町・若狭町）で展開されている「若狭路はあとふる体験」は、宿泊プログラムのホームスティ型民泊と、クラス別、男女別分宿の漁家民宿を軸に、探究学習や農林漁業、アウトドアなど約50種類の多彩な体験を組み合わせた教育旅行プログラムを準備している。事業の根底には、「愛・感謝・信頼・挑戦」を理念に、地域の自然や暮らし、人の営みを次世代へつないでいくという明確な思想がある。

宿泊プログラムとして、一般家庭に滞在するホームスティ型民泊である。受け入れ家庭は農漁業者に限らず、会社員世帯や高齢者世帯、3世代同居など多様で、参加者は「お客さま」ではなく家族の一員として迎え入れられる。食事づくりや後片付け、布団の準備など、地域の日常生活を共にすることで、家族の役割や支え合い、地方が抱える課題を実感として学ぶ機会となっている。福井県の幸福日本一を体験してもらいたい。

さらに、1次産業の舞台でもある地方の漁村での生活を体験できる漁家民宿の二つの宿泊プログラムが中心となっている。

■若狭地域の強み①
約60種類の選択体験プログラム　農林漁業・アウトドア体験の充実

ボート体験

漁村での宿泊で、しじみ漁や魚さばきを体験。自然豊かな場所でリアルな1次産業を体験できる

体験プログラムは約60の見学や地域の取り組みを題材とした学習を展開。体験を通じて問いを立て、考え、意見を交わすプロセスを重視し、持続可能な社会のあり方を自分事として捉える力を育成する。エネルギー拠点を有する若狭地域は、探究的な学びのフィールドとして高い親和性を持つ。

■若狭地域の強み②
エネルギー学習を核とした探究学習

探究学習では、日本のエネルギー問題をテーマに、エネルギー関連施設の見学や地域の取り組みを題材とした学習を展開。体験を通じて問いを立て、考え、意見を交わすプロセスを重視し、持続可能な社会のあり方を自分事として捉える力を育成する。エネルギー拠点を有する若狭地域は、探究的な学びのフィールドとして高い親和性を持つ。

■若狭地域の強み③
地域コーディネーターによる一括支援体制

本事業を支えているのが、地域コーディネーターの存在である。宿泊、体験、食事、移動、スケジュール調整までを一括して担い、学校や旅行会社と地域との橋渡し役を果たす。受け入れ家庭やインストラクターとの日常的な関係づくり、事前調整から当日のフォロー、緊急時対応までをきめ細かく行うことで、教育旅行としての安全性と質を確保している点は大きな強みだ。現場を熟知したコーディネーターが介在することで、学校側の負担軽減と、地域側の持続的な受け入れにつながっている。

北陸新幹線敦賀開業により、広域からのアクセスも向上した。若狭路はあとふる体験は、理念に基づく人間的交流と、コーディネーターを核とした受け入れ体制、多彩な体験プログラムを通じて、次世代育成と地域経済を支える取り組みとして、今後さらなる展開を目指している。

プログラム終了後には別れを惜しむ姿も見られる

**一般社団法人 COLORsプラス**
（若狭路はあとふる体験）
〒919-1131 福井県三方郡美浜町木野21-4-1
〈㈱旅工房内〉
TEL 0770-32-2222　FAX 0770-32-6667
URL https://tabikobo-jpn.com/
E-mail:tabikobo-all@joy.ocn.ne.jp

## 滋賀県・東近江エリア（日野・東近江・甲賀）

# 近江商人と忍びの心に学ぶ
## 課題解決型修学旅行
## 農村生活と家業で心の交流

滋賀県の東近江エリア（日野町、東近江市、甲賀市）は、〝売り手よし　買い手よし　世間よし〟の「三方（さんぽう）よし」の精神で常に社会貢献の心を忘れず、商いに精進した近江商人発祥の地です。また、甲賀忍者の里であり、今なおその末裔たちが自然の中で培われてきた先人の知恵と何事にも耐え、忍ぶ心を受け継いでいる地域でもあります。

近畿の水がめ琵琶湖へそそぐ河川の源流地域の豊かな自然の中で培われてきた「三方よし」と「忍び」の心が今も息づく農村の暮らしの中から、子どもたち自身が「心の豊かさ」を発見し、子どもたちの「生きる力を育む」教育旅行を提供しています。

東近江エリアのうち、近江日野は引率者の本部宿からわずか15分圏内に、東近江エリア、甲賀エリアは約30分圏内に、それぞれ受け入れ家庭が点在しており、最大30人の受け入れが可能です。1軒4人を基本に分宿し、その時期にある作業やものづくりなどを各家庭で体験していただきます。東近江エリアへは京都や奈良、名古屋からバスで約1・5時間、名神高速・新名神高速主要インターから約30分と、関西圏・中部圏との交通アクセスは大変良好です。

■課題解決型の修学旅行ご提案～農村生活体験（農泊）と家業おまかせプランで心の交流を～

東近江エリアの農村生活体験（農泊）と家業おまかせプランは、世代や職業の違う受け入れ家庭の数だけ体験があると言っても過言ではありません。また、食生産現場での体験、受け入れ家庭との共同調理、食入れ家庭の生業、農村のありのままの暮らしを交流の手段にして、多くの会話で心を通わせ、より交流が深まることで、子どもたちの「①コミュニケーション能力の向上」が期待できます。

各家庭ではさまざまな体験ツールを用意し組み合わせることから、受け入れ家庭の数だけ体験が業の大変さ、喜び、食育」の理解の促進とともに、家庭との共同作業、共通体験を通して「③達成感や心の豊かさ」をより深く体感いただくことができます。農村生活体験（農泊）と家業おまかせプランを通して、生徒たちの「④リーダーシップの資質向上」「⑤主体性、協調性」を養うプランは数多くの学校さまにご支持いただいています。

体験することが目的ではなく、体験を通して交流を深め、人としての成長を促すことが最も大切だと、滋賀県東近江エリアは考えています。教室の中だけでは学ぶことが難しい「一人一人が考え、行動する力」を養うことができる場をご提案いたします。

おかげさまで、東近江エリアで教育旅行の受け入れを始めて16年の経験を積ませていただきました。安全安心、そして教育効果の高い受け入れに向けて地域一丸となって取り組んでいます。皆さまのお越しを心よりお待ちしています。

タマネギの収穫

受け入れ家庭と笑顔でお別れ

食育課題で広島焼きを受け入れ家庭に振る舞う

**一般社団法人 近江日野交流ネットワーク**
〈ワンストップ窓口〉　日野町商工観光課内
〈共同受け入れ団体〉　甲賀市都市農村交流推進協議会
ただいまステイ東近江運営委員会
〒529-1698 滋賀県蒲生郡日野町河原1―1
日野町商工観光課内
TEL 0748-52-6562　FAX 0748-52-8888
E-mail inakataiken@omi-hino.jp
URL https://www.omi-hino.jp/

## 長野県・南信州

# 1300校の受け入れ実績
## 農家民泊と体験交流で心育む

■なぜ今、南信州か？

○「主体的・対話的で深い学び」、SDGs理解学習、ESD（持続可能な開発）学習のためのファシリテーター（学習支援者）の養成に積極的に取り組んでいます。

○1996年より全国からの教育旅行の受け入れを開始、30年間の安定した実績。

○全国で初めて農泊を教育旅行に導入（1998年）。第1回オーライ！ニッポン大賞最優秀賞、2017クールジャパンアワード受賞（農泊）。2025GDTOP100に選出（南信州の農家民泊）。

○南信州観光公社は、飯田下伊那など16市町村が出資し広域行政の協力で受け入れ。

○ラフティングなどの200近い体験プログラムが用意されています。

■SDGsと学習指導要領～学校教育に求められるもの～

世の中は「正解のない問い」に答えを出せる「問題解決能力」や「創造性」を持つ人を求めています。感動体験南信州は、学歴や偏差値でその能力の有無は予測できないものであり、次代を切り拓く青少年には、「認知能力」（IQや学力テストで計測される）ではなく、「非認知能力」がその職業人生においても必要とされると考えます。

これは真面目さ、開放性、外向性、協調性、精神的安定などから構成され、人間力と言い換えても良いものです。

■信頼のおける農家民泊の受け入れ

1998年に全国に先駆けて受け入れを開始して以来、29年にわたり受け入れを行い、ご利用いただいた学校数は約1300校以上に上ります。コロナ禍や高齢化の波を乗り越え、現在約120軒の民泊受け入れ農家の方々との協力体制を敷いており、1日当たりの最大人数は300人を数えます。

また、地域文化としても定着していることで、新たに受け入れ農家を目指す方々が毎年何軒も現れているため、今では60歳未満の受け入れ農家の全体に占める割合は40%を超えており、将来にわたって継続的な受け入れが可能となっております。また、全軒が消防法令適合通知書の添付を前提とした旅館業法における簡易宿所の許可を取得しております。

■快適な実施環境で安全性の高い天竜川ラフティング

300人の受け入れが可能な天竜川でのラフティングプログラムは、2024年に委託業者を変更したことで全国的に例のない、スタート&ゴール地点とも護岸された港と常設の建物内に着替え会場を有し、7人・9人乗りボートで編成しチームワーク醸成を意識した対応を行っています。

ラフティング事業は官公庁の許認可制によるものではなく、安全対策は各事業者に委ねられているのが現状で、おのおのの事業者が厳しい安全基準を設けていますが、当方のラフティング委託会社では、国交省所管の「旅客不定期航路事業」の認可を受けており、安全面に極めて高い意識を持っております。

情報モラルやメディアリテラシーへの対応力の強化を意識したものとなる30年以降の学習指導要領の改訂も見据え、自己肯定感の涵養や他者理解の心を育むプログラムをふんだんに用意しています。皆さまのご来訪をお待ちしています。

天竜川ラフティングでチームワークができる

ネギの収穫、ほ場から考える農業のSDGs

リンゴ畑から循環型農業の効果を知る

ソーセージづくりを体験

**株式会社 南信州観光公社**
長野県の認定するSDGs推進企業第147号
〒395-0001　長野県飯田市座光寺3349-1
エス・バードE棟2階
TEL 0265-49-4737　FAX 0265-49-4738
URL https://www.mstb.jp/